



の終わりにハレルヤがありますけれど、それは116の始まり。117の始まりのハレルヤは116の終わりのところ。それで118もハレルヤで始まっているということで、111、112、113、114、115と116、117、118これはずっとハレルヤという詩篇になっているということがわかりますので、最初分析していた時は、111から118までがハレルヤの詩篇と分析をしていました。今は違いますけど。

107から112…「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」というのが「ハレルヤ」の正式なバージョンです。それを短く言ったらハレルヤになっているということで、107からがハレルヤの詩篇だということです。

107から112までの4つに分けたものの組み合わせ。113から118までの4つに分けた時の組み合わせ。これについては、この紙を見てください。

救いとあわれみとか、しもべを救ってくださるということと民を全世界を祝福することが並行していたりということがありますので、その分析をしてみると余計にこの前半、後半がひとつずつのかたまりだろうということがわかってきます。

「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」という出エジプトのテーマですね。救われたというところの段落がこの107から118までだということがこの分析によってもわかると思います。